

## ワークフローテーブル用の独立したデータストア

デフォルトでは、ワークフローテーブルはアプリケーションのテーブルが保存されているのと同じデータストアに作成されます。

ただし、これらのテーブルを独立したデータストアに保存することは可能です。これにより、テーブルタイプごとにアクセス制限を個別に定義できるため、アプリケーションデータとワークフローデータのセキュリティが強化されます。

ワークフローテーブル用の独立したデータストアを設定する方法については、この[リンク](#)を参照してください。